森永製菓株式会社

第175期 定時株主総会

2023年6月29日

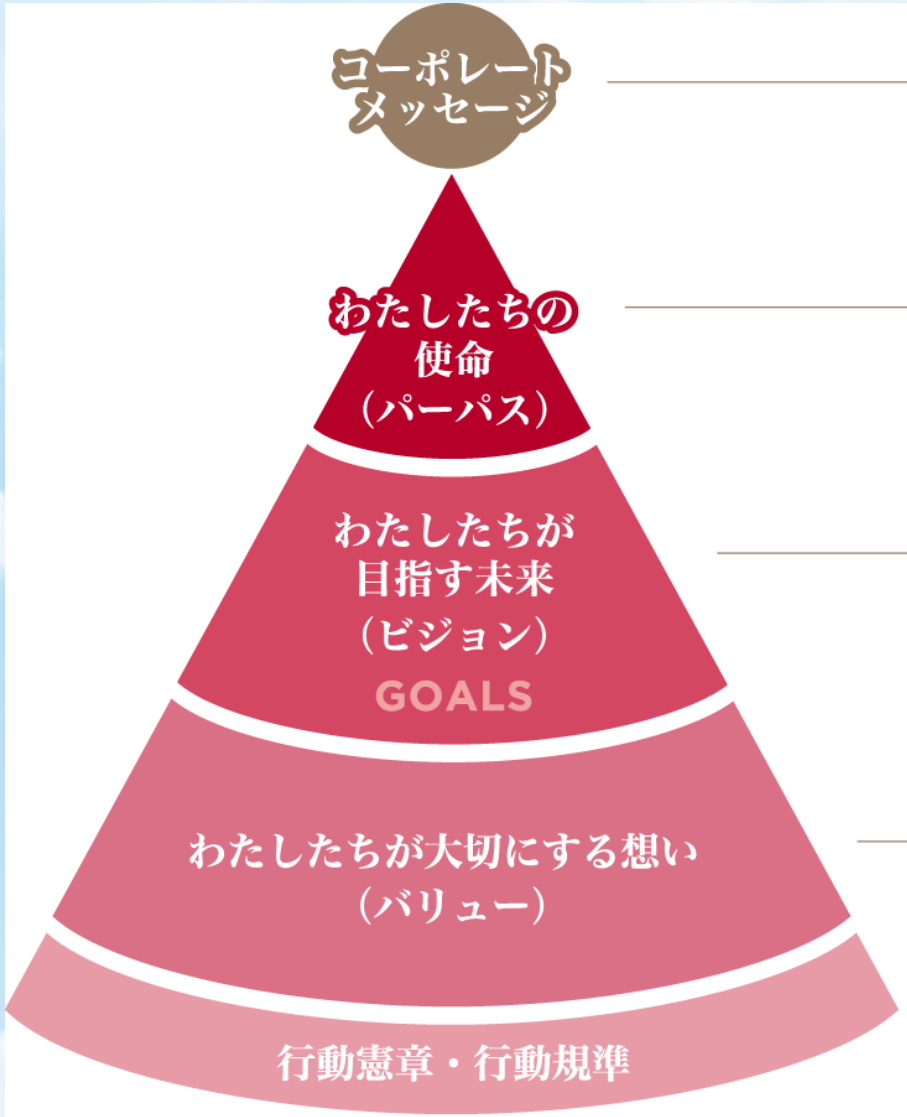
議事進行のご説明

議決権数ご報告

監査報告

報告事項

企業理念



おいしく たのしく すこやかに

森永製菓グループは、
世代を超えて愛されるすこやかな食を創造し続け、
世界の人々の笑顔を未来につなぎます

Good quality
誠実な姿勢で高品質を追求

Only-one value
新たな価値と感動を創造

Act globally
活動の舞台と可能性を拡大

Link together
ステークホルダーとの信頼関係を強化

Sustainable society
持続可能な社会に貢献

利他の精神

- お客様第一主義であること
- パイオニアであること
- 不撓不屈の精神を持つこと
- 人の繋がりを大切にすること
- 企業と社会の課題を一致させること

お伝えしたいこと

1 2030ビジョン

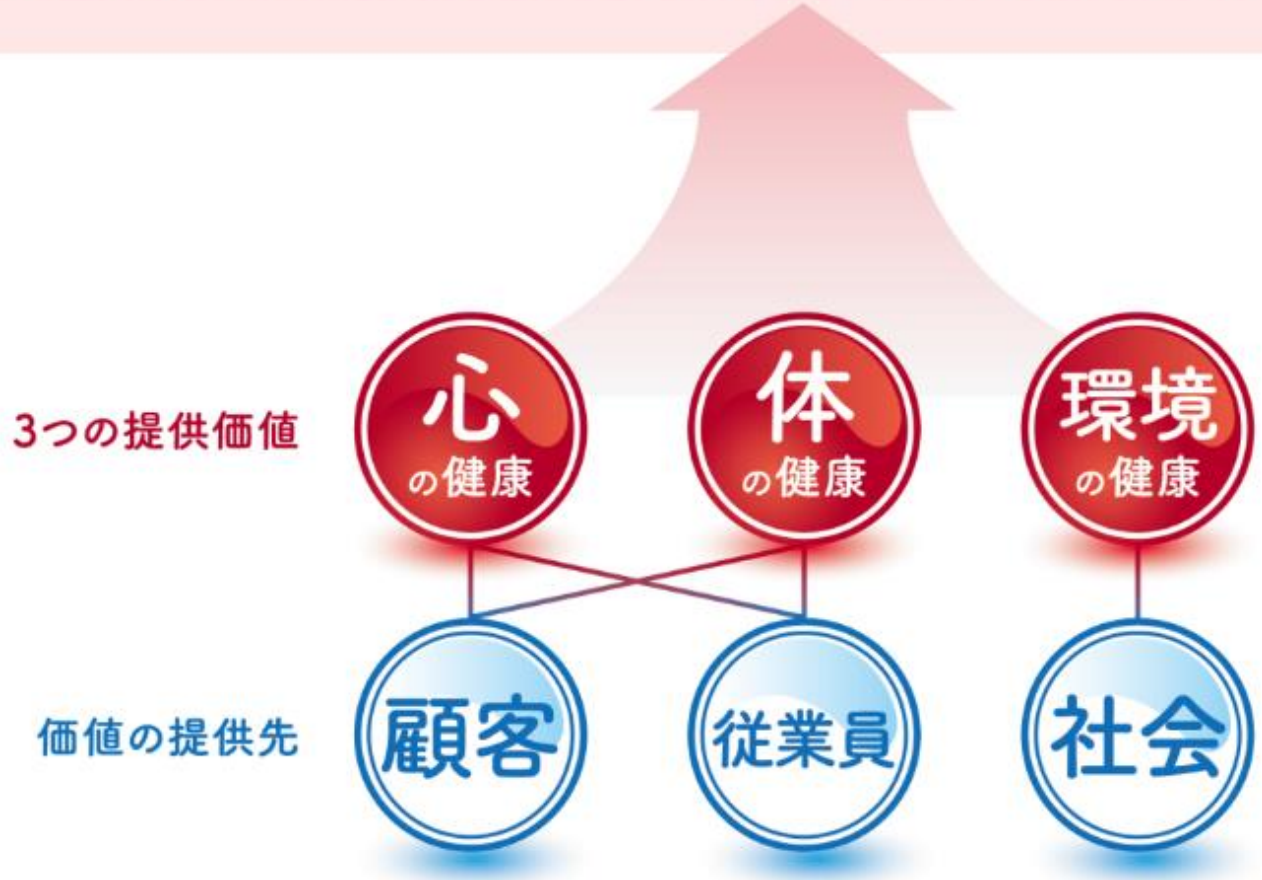
2 2022年度実績･2023年度業績予想

3 2021中期経営計画の進捗と見通し

2030ビジョン

『森永製菓グループは、
2030年にウェルネスカンパニーへ生まれ変わります。』

120年の歴史で培った信頼と技術を進化させ、世界のあらゆる世代のウェルネスライフをサポートしていきます。



2022年度実績・
2023年度業績予想

2022年度実績

（億円）	2021年度	2022年度	前期比較	
			（額）	（率）
売上高	1,812	1,943	+131	107.2%
売上総利益	758	766	+8	101.1%
営業利益	176	152	▲24	86.1%
親会社に帰属する当期純利益	277	100	▲177	36.2%

売上高 2期連続過去最高値　21中計目標を1年前倒しで達成
原材料関係（為替含む）及びエネルギーコストの高騰影響▲78億円
積極的な無形投資（広告費・研究開発費、他）

当期純利益の減益は、前期の政策保有株式売却に伴う影響（約150億円）*1を含む

*1　特別利益と法人税等のNET

2023年度業績予想

（億円）	2022年度	2023年度	前期比較	
			（額）	（率）
売上高	1,943	2,040	+97	105.0%
売上総利益	766	819	+53	106.9%
営業利益	152	173	+21	113.5%
親会社に帰属する当期純利益	100	122	+22	121.3%

売上高 3期連続過去最高更新を計画
原材料関係（為替含む）及びエネルギーコストの高騰影響▲67億円を前提
2030ビジョン実現に向けて積極的な無形投資は継続

外部環境の変化への対応

原材料
価格高騰

エネルギー
価格高騰

円安進行

コロナ禍
リオープン

価格改定

売上高増収

原価低減

費用の効率化

高付加価値・ウェルネス商品の開発

様々な打ち手で対策を講じる

2021中期経営計画
進捗と見通し

21中計における売上高と営業利益の進捗

2021中期経営計画（2023年度）		
（億円）	計画	予想
売　上　高	1,900	2,040
営業利益	215	173

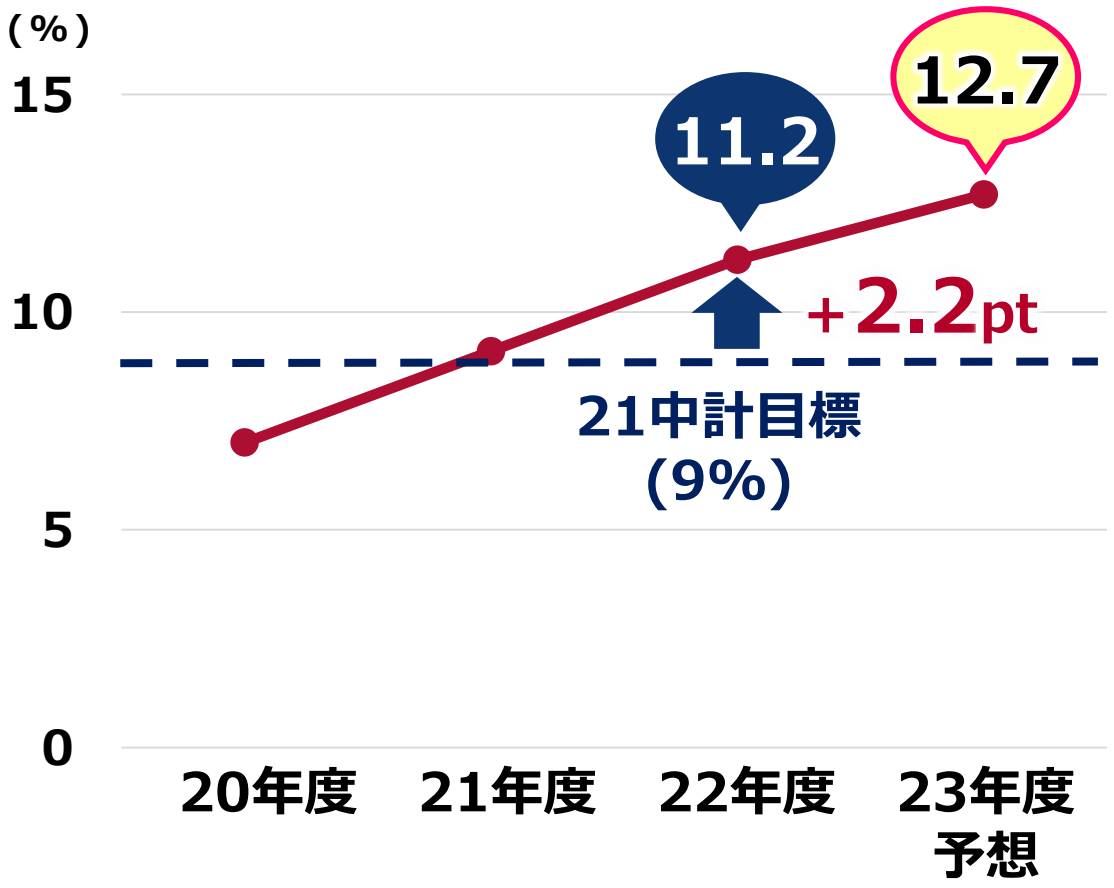
原材料・エネルギー価格高騰の影響



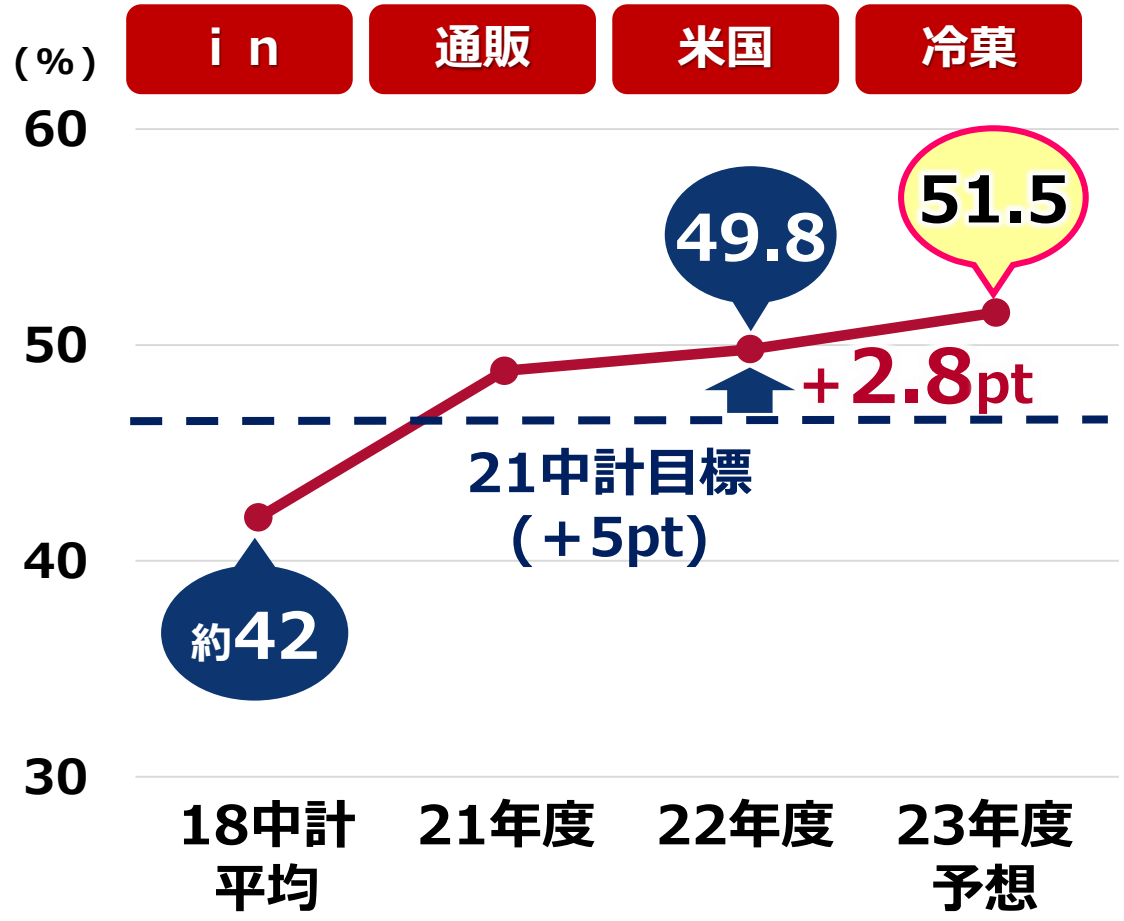
売上高は21中計目標を大幅に上回る見込み
営業利益は原材料価格高騰により、目標未達予想

経営目標進捗

海外売上高比率



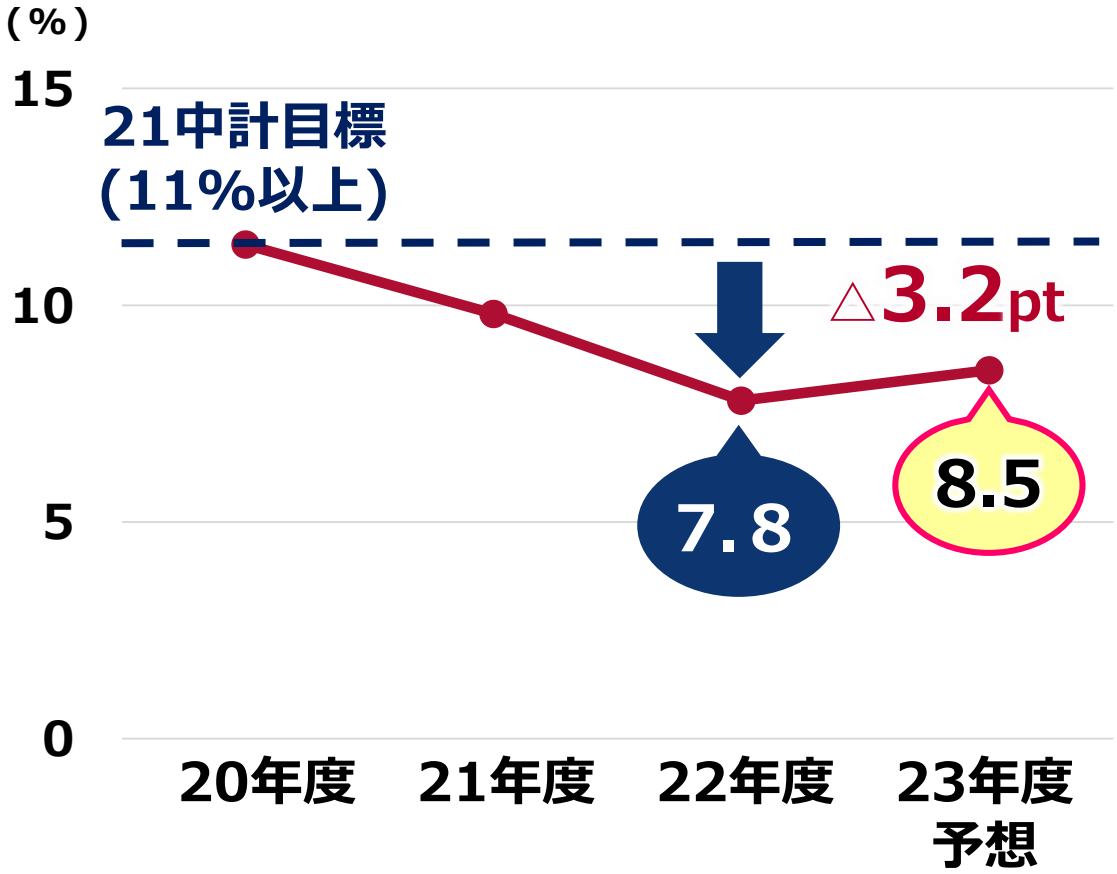
重点領域売上高比率



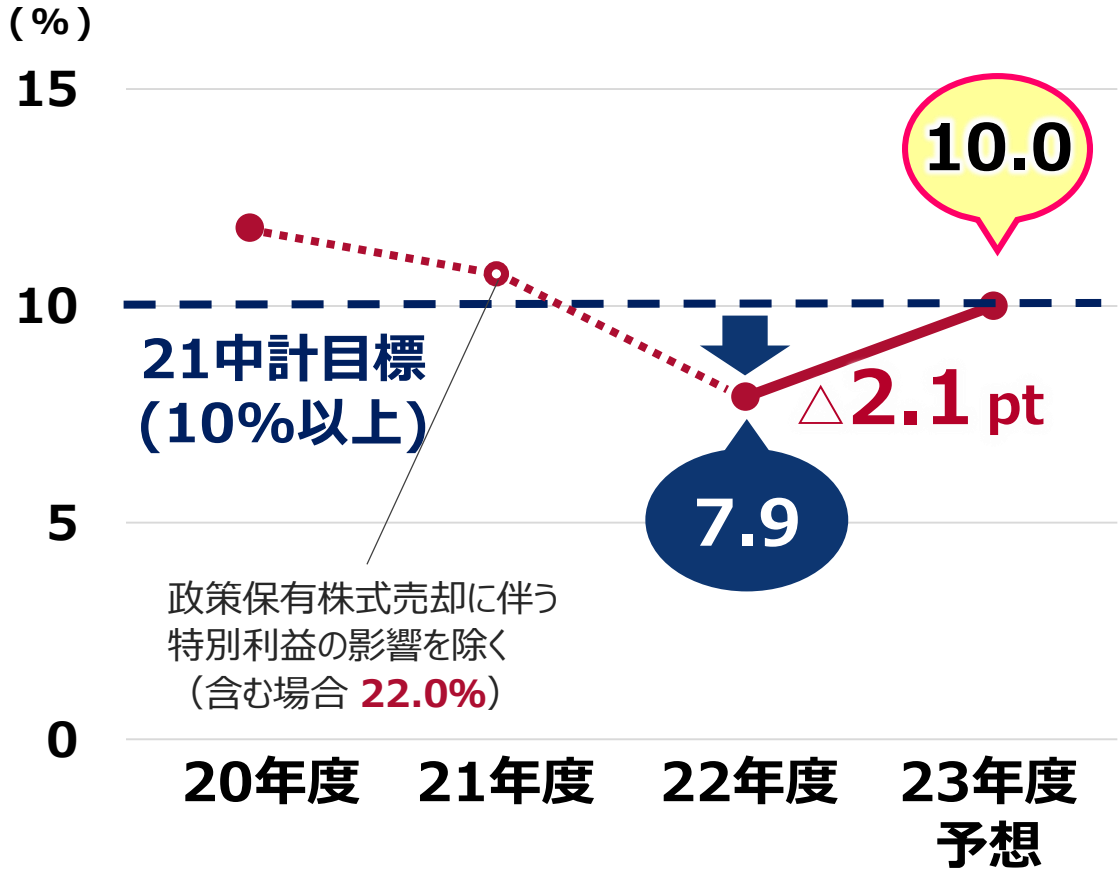
ともに大きく目標を上回る進捗

経営目標進捗

営業利益率



ROE



厳しい経営環境の中、意志を持って回復へ

重点領域売上高推移

（億円）	2020年度 実績	2023年度 予想	21中計期間中の伸長	
			（額）	（率）
ｉｎ事業*1	243	331	+88	136.2%
通販事業	74	108	+34	146.1%
米国事業	72	187	+115	260.3%
冷菓事業	384	423	+39	110.2%

重点領域の全事業が堅調に推移

*1　ｉｎブランドを冠したキャンディ、チョコレート等の商品を含む

重点領域　ｉｎ事業

ｉｎゼリー成長加速



- 2022年度売上高は過去最高を更新
- ターゲット、飲用シーン拡大へ



ｉｎバーの拡大





商品・プロモーション
両面で商品価値の伝達

新たな食の創造





NEW
「未来食の創造」

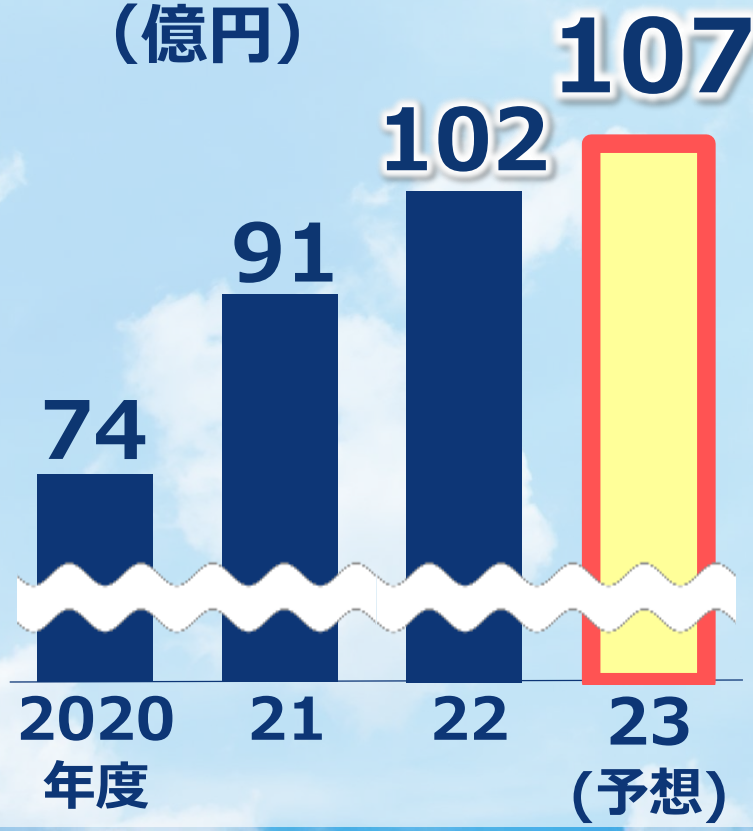
新たなカテゴリーへの参入

重点領域　通販事業

戦略的なマーケティング投資により
売上高100億円突破

売上高

（億円）







「肌の潤い」「ひざ関節」「骨」に加え
「肌の弾力」への機能性を新たに追加取得

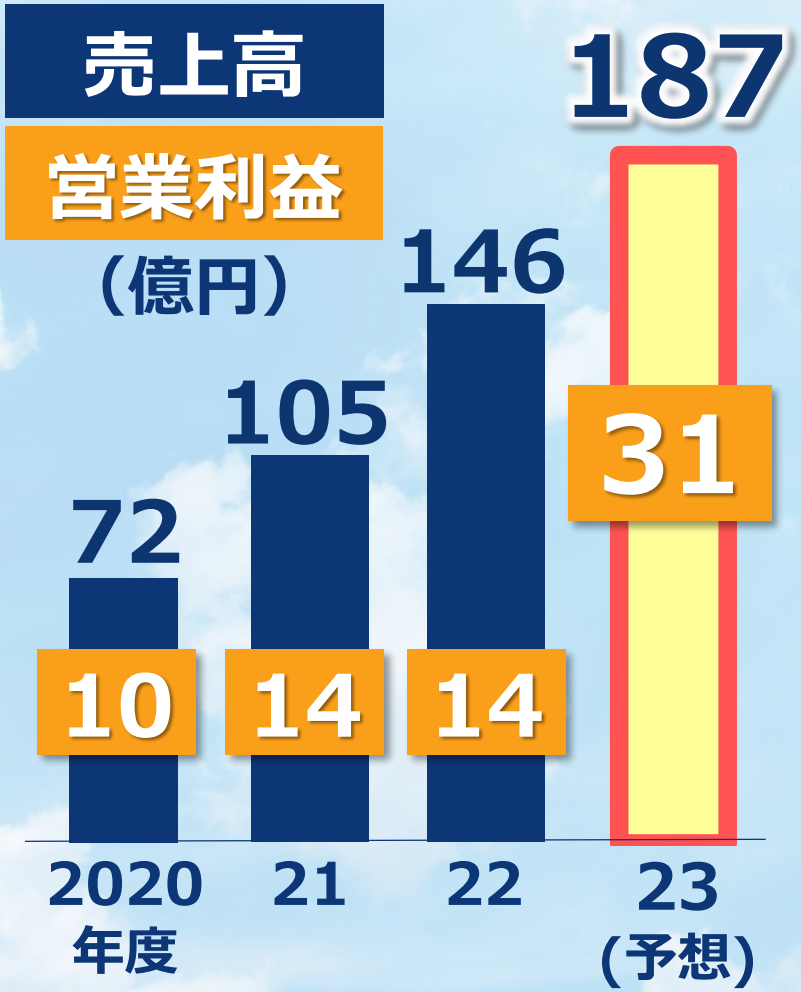


おいしさと機能性の両立

重点領域　米国事業

さらなる成長加速

売上高
営業利益
（億円）





Chargel™



アクティブシーンで
存在感のあるブランドへ



重点領域　冷菓事業

鮮度マーケティングの進化





品質改良による訴求強化
パリパリ度アップ！



菓子技術を活かした差別化商品





デザート需要の獲得

新たな市場の創造



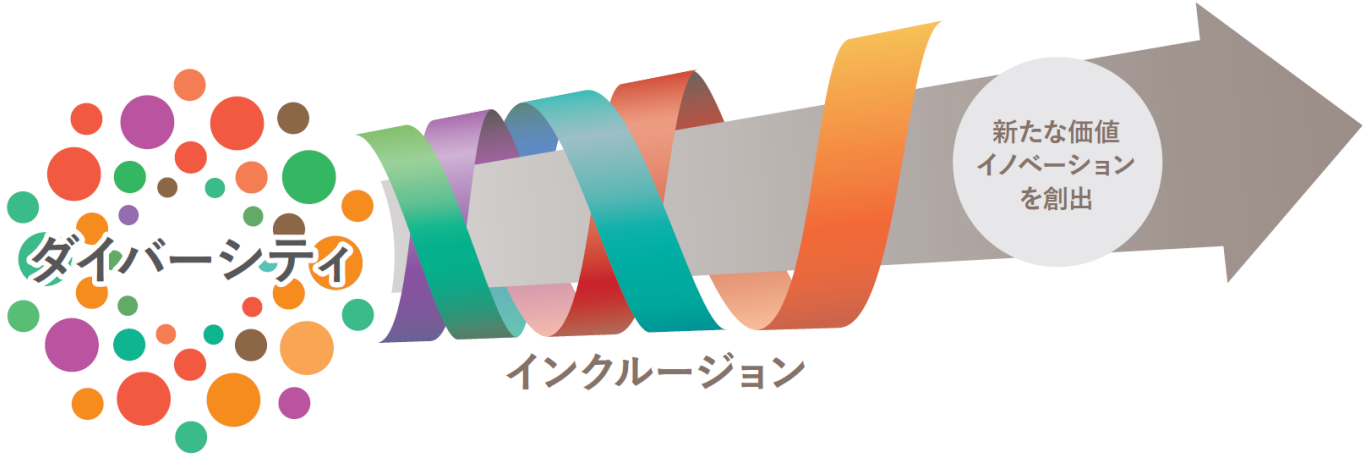




新たなカテゴリーへの参入

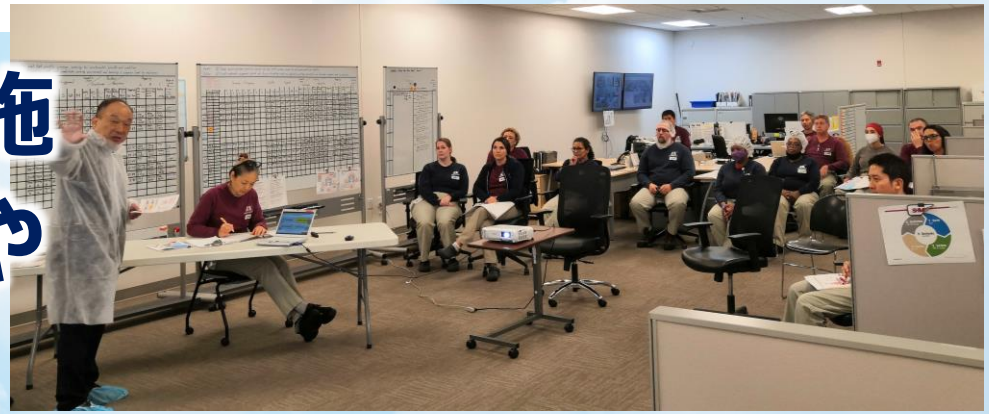
ダイバーシティの推進

ダイバーシティポリシー
「一人ひとりの個を活かす」





- アンコンシャスバイアス研修の実施
- 対話・ヒアリングを通じた各部門や海外現地法人への浸透



2030ビジョン実現に向けた「心の健康」取り組み

顧客・従業員の「心の健康」について、６つの要素で定義した『こころく』を策定









全社への浸透を推進し、事業活動への寄与と従業員エンゲージメントを向上へ

2030ビジョン実現に向けた「心の健康」取り組み

ジャンボスマイルプロジェクト



①『パリパリ食感追求に向けた取り組み』の発信

②パリパリ食感に関する感性研究内容の発信



埼玉大学 綿貫教授との共同研究をスタート



サステナビリティ取り組み

持続可能な原材料調達

		22年度実績
●紙 *1 FSC®認証紙や再生紙等 使用	2022年度までに100% *2	99.9% 概ね達成
●パーム油 認証パーム油(RSPO認証原料等) 使用	2023年度までに100% *2	9% 今年度中に達成見込み
●カカオ豆 ココアホライズン認証カカオ等 使用	2025年度までに100% *2	34% 目標達成に向け対応加速



*1 製品の包材が対象　*2 国内の森永製菓製品において

MORINAGA

健康経営の推進



●「健康経営優良法人2023
～ホワイト500～」認定

2023 健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

6年連続「健康経営優良法人」認定

●スポーツ庁「スポーツエールカンパニー2023」認定

**全従業員の健康増進を目的とした
自発的な活動を促す取り組みが評価**

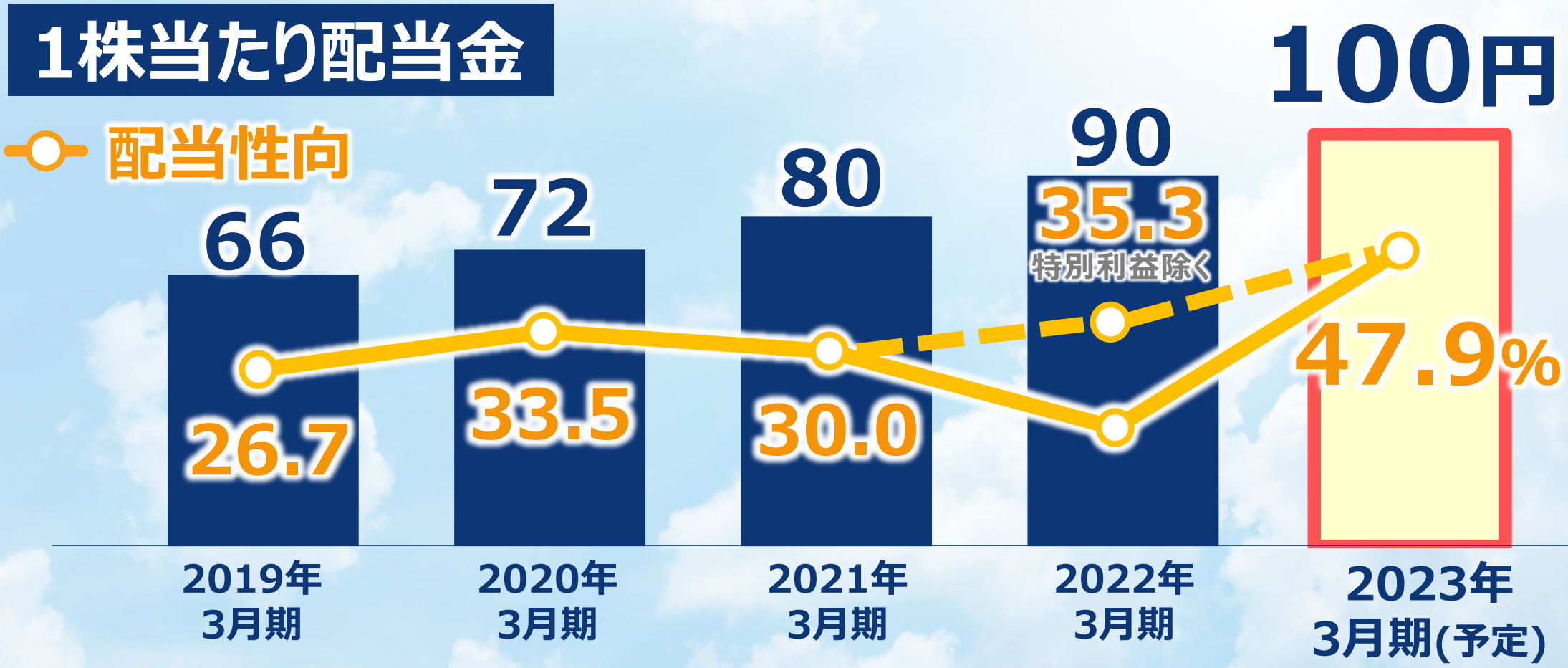
「ｉｎトレーニングラボ」のトレーナーが、
工場勤務者向けに「森永ファクトリー体操」を開発



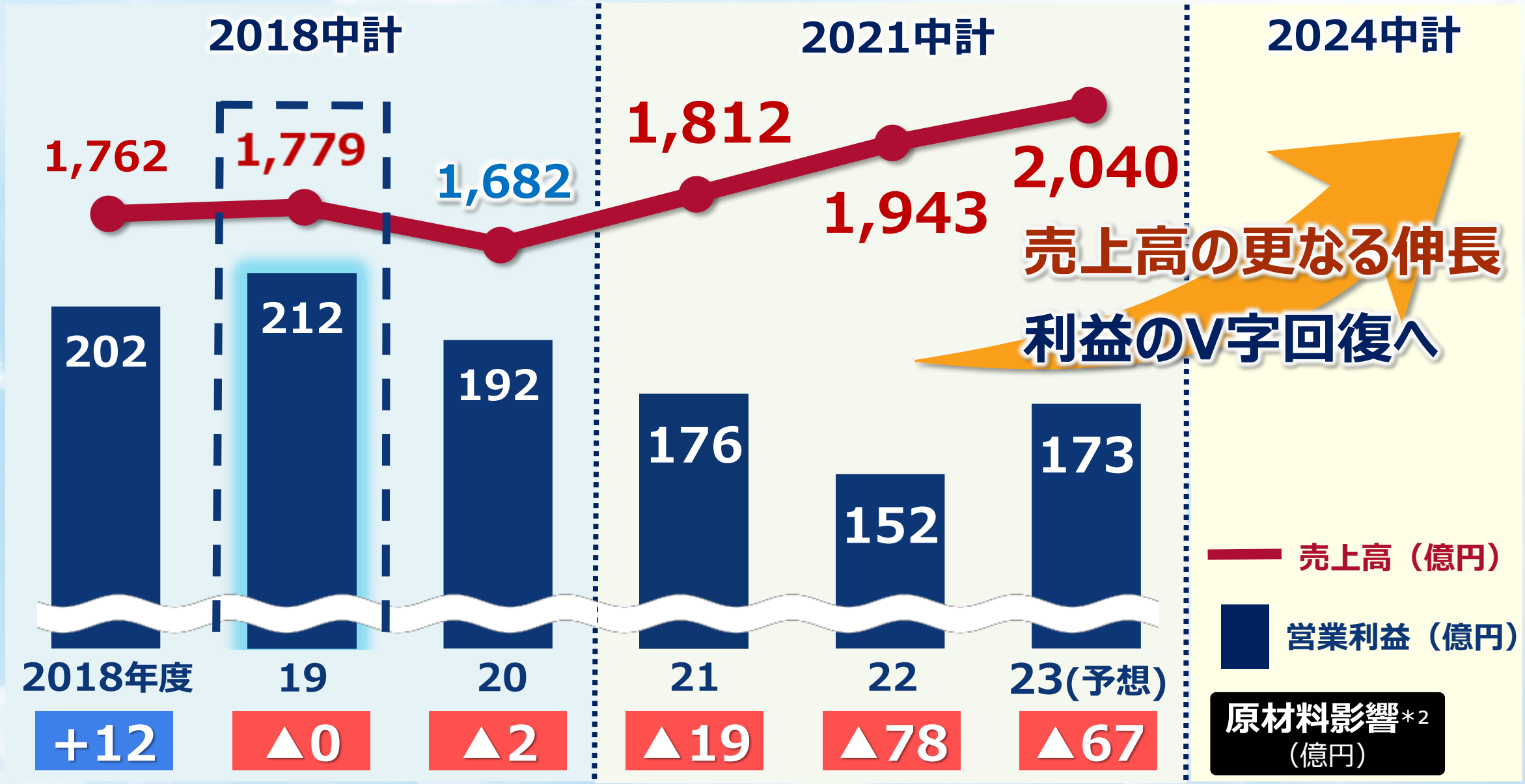
株主還元

10円増配（８期連続増配）

1株当たり配当金



森永製菓グループ 業績推移*1



*1 2021年度期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年３月31日）等を適用。2020年度以前の売上高は、当該会計基準等を遡って適用したと仮定した概算値。
*2 原材料影響には原材料相場の他にコストダウン取組や為替相場変動要素を含む／森永製菓単体および製造子会社

決算説明会資料・動画







価値創造プロセス



個人投資家の皆様へ



サステナビリティ

森永製菓ホームページにて公開



今後とも一層のご支援を賜りますよう
お願い申し上げます

決議事項

決議事項

第１号議案

剰余金の処分の件

決議事項

第２号議案

取締役１１名選任の件

決議事項

第３号議案

監査役２名選任の件

決議事項

第４号議案

取締役の報酬改定の件

新役員紹介

MORINAGA

監査役

笹森（ささもり）　建彦（たけひこ）

MORINAGA

監査役

上野（うえの）　佐和子（さわこ）